



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1997～98年度 RIテーマ

国際ロータリークラブ会長 グレン・W・キンロス



ロータリーの心を

あなたの住むところ 私たちの世界 そこに住むすべての人々に

四大奉仕部門すべてを通じて ロータリーの心を示そう

クラブ奉仕—あなたのクラブに ロータリーの心を
 職業奉仕—あなたの職業に ロータリーの心を
 社会奉仕—あなたの地域社会に ロータリーの心を
 国際奉仕—私たちの世界に ロータリーの心を

ロータリー財団月間

第484回 平成9年11月28日(金)

[本日のプログラム]

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「手に手つないで」
3. 食 事
4. 会 長 の 時 間
5. 幹 事 報 告
6. 各 委 員 会 報 告
7. ロータリー財団委員会
8. 点 鐘

次回予告

- *12月5日(金)
12月セレモニー
会員卓話 恒吉正志君
- *12月12日(金)
夜間例会
会員卓話 藤堂孝一君

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30) 第2金 19:00 会 長 徳丸 彰一
 例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913 副会長 加藤 仙之
 事務局 宮崎郡佐土原町大字下田島20614 幹 事 梶田 與之助
 山脇医院長自宅内 会 計 福井 輝文
 ☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170 会 員 課 垂水 敏雄

第483回例会記録

(1997. 11. 21)

☆会長の時間

徳丸彰一君

皆さん今日は、本日は第483回例会で、ガバナー公式訪問日であります。

始めに函師鎮雄ガバナーをご紹介します。函師ガバナーには、連日の公式訪問とか先日行われました第2730地区大会でお疲れのところを、当クラブのご指導にお出でいただき、大変ありがたく存じます。少数のクラブで、不備な点が多々あると思いますが、本日のご指導により是正・充実すべきところを学び、今後の当クラブの発展向上に努力したいと考えておりますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

次に本日のビジターをご紹介します。西都RCの中武兵一郎君です。

本県では、残念ながら最近交通死亡事故が多発していると報じられています。

それで参考までに、某会社(社員数約500名)が社員の交通違反について調査した結果を申し上げます。

これは殆どが私用時間中だそうです。

*交通違反の多い順

①シートベルトの不着用 (26%)

②規制速度違反

③信号無視

*交通違反者の年齢区分順位

①20歳～24歳

②25歳～29歳

③19歳以下

19歳～30歳が全体の約70%

☆幹事報告

梶田奥之助君

1. 例会変更通知は来ていません。
2. 第2730地区大会に際して、佐土原RCがコ・ホストクラブとして協力したことに対するお礼状と、慰労会の案内状が、函師鎮雄ガバナー・長谷川裕康地区幹事・尾崎公男地区大会実行委員長・尾崎忠男西都RC会長連名で届いています。

(11月25日 PM7:00 西都市 ウェディングパレス敷島)

3. 来年6月開催予定のRYLAのホストクラブを、西都RCのご快諾いただきました。航空自衛隊新田原基地での体験入隊も計画されているそうです。
4. RI世界本部より、ロータリー適用為替相場変更のお知らせが次のように来ています。

『1997年12月1日からロータリーレートを1\$=126円(現行は117円)にする。』

☆出席報告

委員長 宮原建樹君

会 員 数	27名
H C 出席者数	23名
欠 席 者 数	4名
出 席 率	85.2%
メークアップ者数	1名
修 正 出 席 率	88.9%
欠 席 者 名	神宮寺・福田・伊藤
メークアップ者	池田

☆親睦委員会より

委員長 吉田康一郎君

12月21日(日)に愛和ゴルフクラブ宮崎コースで開催されます『歯車会』ゴルフコンペについて、再度、参加のお願いを申し上げます。西都RC・高鍋RCからの参加者数を勘案して、佐土原RCからも最低3チームは参加したいと思っておりますので、よろしくご協力のほどお願いいたします。

後日、個別にご相談に回ることも考えております。

☆ガバナー・アドレス

ガバナー 関師鎮雄君

第2730地区内に62クラブありますが、本日はその61番目のクラブ公式訪問です。

11月7日～9日の国際ロータリー第2730地区大会の節は、貴クラブに献身的なご助成をいただき、誠に有り難うございました。お陰をもちまして、どうか成功裡に大会を終了することができ、ほっとしているところです。

また、私のガバナー年度には、佐土原RCから優秀な山脇 忍中部分区代理を出していただき、大変感謝しております。

ご承知のように、第2730地区には鹿児島県に6分区、宮崎県に3分区が設けられていますが、本県の中部分区はクラブ数が最大の12もあり、山脇分区代理にはご多忙なお仕事の中をご苦労をお掛けしていますことを申し訳けなく考えております。さらに、本年度から新リーダーシッププランを採用させていただきましたので、IM、新世代会議、GSE、

RYLAなどを分区単位で実施することになり、従来の分区代理に比べて役割が倍増しております。

このような状況にあっても、山脇分区代理は迅速・的確に役割を遂行され、ガバナーの私をよく補佐していただいております。本席をお借りしまして皆様にお知らせし、改めて感謝の意を表します。

地区内のロータリークラブを訪問してみますと、その歴史の古さ、新しさ、又は規模の大小、あるいは地域における立地環境の差などいろいろの格差はありますが、会員のみなさんが一生懸命にロータリーの奉仕活動に取り組んでおられる姿を拝し、頭の下がる思いがしばしばしました。ただ、中には、古いクラブでプライドだけはいたずらに高く、内容は乏しいクラブもありましたが。

ワン・クラブ=ワン・カラーと言いましょうか、それぞれのRCには、その伝統に醸された特色があるものだなあという感触を今回受け、各RCの台所の事情まで知らされました。

忘れられないのは、アナハイムで行われたガバナーノミニ研修です。

1週間の合宿研修期間中ホテルから出たのはたった4時間で、まさに缶詰研修でした。全体会議には各国のガバナーノミニ521名が出席し、RI幹部の講義が終わると一斉に分散して、各組ごとに小会議室で研修があります。

私たちは日本のガバナーノミニ34名が2班に分かれました。研修形式は、あるテーマについて各人が意見を述べ、

討論するというものでした。眠気など全く起こらない真剣な研修の毎日でした。

17名の座席は毎日変わりますので、お互い名前はもちろん性格まで分かり、同期生の絆を深めることもできて、大変参考になった研修会でありました。

研修二日目に、私たちが最も関心を持っていた次年度のR Iテーマの発表がありました。皆さんご承知の『Show Rotary Cares』です。

シンボルマークの四つの手は四大奉仕を示し、四つのカラーは民族・宗教・国・言語の違いはあっても、お互いが固く手を結んで地球を支えているということを表しているのだそうです。このアイデアは、キンロス会長が考えられたものだとの説明がありました。

※ここで、グレン W. キンロスR I 会長のR Iテーマについての講演の主要部分のビデオ映写がありました。

キンロスR I会長の説かれるところは、「今我々が取り組まなければならない最大の、そして緊急の課題は、貧困と飢餓に対する対策である。その対策としては、読み書き、計算ができない人に、その能力を与えることが第一である。それができないうちは、世界平和は永久に達成されないであろう。」という主旨のようでした。

本年10月に札幌市でロータリー研究会があった後、キンロス会長が福岡市に立ち寄られて講演をされました。

その時も、日本のロータリアンが今までにR I財団に尽くした功績を称え、今

後に対する協力を要請されました。

事実、ロータリー財団の基金の3割は日本のロータリアンが負担し、我々の協力がなければロータリー財団は成り立たない現状であります。

ところで、貧困・飢餓・識字率の問題は、私たちにとっては遠い世界のことで、何となく縁が薄く感じられますが、もう一度本年度のR Iテーマの真意を考えて見ましょう。

日本語訳では『Show』を省いて、『Rotary Cares』を『ロータリーの心』と訳してあります。

Showは省訳した方がかえって奥行き、余韻があるように私は思います。

『ロータリーの心』とは何でしょうか。愛、思いやり、寛容、関心を持つ、あるいは東洋的表現では仁が考えられます。

そして、思うだけでなく、全国28,000クラブの会員が実践しましょうというのがキンロスR I会長の提唱なのです。

世界的な視野に立てば、なるほどそうかなと思われれます。

私たちは現在暖衣飽食に慣れ、恵まれた生活環境を享受しています。しかし、世界に目を向けると、恵まれない人々が多数おり、1,800万人の人が慢性的な飢餓のために次々と死亡しています。

日本の食糧自給率は40%で、不足分の一部は未開発国からも輸入しています。

このような国際関係に目を向け、ロータリーの地域に密着した奉仕活動と共に、車の両輪としての国際奉仕活動にも一層我々ロータリアンは尽力しなければならないと考える次第です。(次回に続く)